

プロジェクト・デザイン・マトリックス (PDM)

プロジェクト名: パレスチナ西岸ジェリコ市廃棄物管理能力向上支援プロジェクト(技術協力プロジェクト)

実施機関: ジェリコ市役所 プロジェクト実施期間: 2005 年から 2008 年まで(3年間)

PDM 作成: 吉田充夫 (2004 年 9 月企画調査、2004 年 12 月 WEDO 委託調査、2005 年 2 月プロ形調査、にもとづく)

作成期日: 2005 年 5 月 2 日 バージョン: Ver. 2.0J

要約	指標	指標入手手段	外部制約要因
上位目標			
1. パレスチナ自治政府に地方都市の包括的な廃棄物管理に関する基本政策が確立し、具体的な方針が整備される。	1.1 地方都市の廃棄物管理に関する政策文書 1.2 上記政策に基づく具体的な方針(5 年計画など)	1.1, 1.2 パレスチナ自治政府からの政策文書、方針計画の入手	パレスチナ自治政府により、ジェリコ市の廃棄物管理が地方都市の一つのモデルとして認定され、その普及が奨励される。
2. パレスチナ全土の地方都市にジェリコ市をモデルとした効果的な廃棄物管理体制が普及する。	2.1 ジェリコ市におけるセミナー・研修コースの定期開催 2.2 ジェリコ市以外の地方都市におけるジェリコ市をモデルとした廃棄物管理の実現。	2.1 ジェリコ市におけるセミナー・研修の情報(カウンターパートとのネットワーク) 2.2 パレスチナ自治政府からの情報取得	
プロジェクト目標			
ジェリコ市に持続的で衛生的な廃棄物管理システムが確立する。	収集運搬が改善され、不法投棄が減少する。医療廃棄物の分別収集と適正処分がなされる。現地の条件に応じた適正技術による衛生埋立 (Controlled Landfill) がなされる。		
プロジェクトの成果			
1. プロジェクトの運営体制が確立する。	1.1 プロジェクト合同調整委員会 (JCC) 等の設置と定期開催 1.2 プロジェクト実施計画の具体化とプロジェクト・モニタリング、及びフィードバック	1.1 プロジェクト合同調整委員会 (JCC) 等の組織体制図、計画 1.2 プロジェクト実施計画書(年次計画等)、プロジェクト合同調整委員会 (JCC) 等の活動記録、議事録	
2. ジェリコ市における廃棄物管理組織体制が確立する。	2.1 廃棄物管理組織の任務分掌の明確化と整備 2.2 廃棄物管理会計の確立 2.3 市民(難民キャンプ)への広報事業 2.4 郊外集落との連携確立	2.1 廃棄物管理組織図と人員配置図、予算書 2.2 予算書と決算書 2.3 活動記録 2.4 協議・連絡記録	
3. ジェリコ市における廃棄物管理の現状が把握される	3.1 ゴミ質・ゴミ量調査報告ペーパー 3.2 収集・運搬実態調査(不法投棄状況調査含む)報告ペーパー 3.3 最終処分場実態調査(土壌・地下水汚染実態含む)報告ペーパー 3.4 医療廃棄物管理実態調査報告ペーパー 3.5 実態把握調査総括レポート 3.6 廃棄物管理の現状についてのワークショップが開催される。	3.1-3.4 個別報告ペーパーの検討 3.5 総括レポートの検討 3.6 ワークショップ開催記録	
4. ジェリコ市における廃棄物管理の改善方針(アクションプラン)が策定される。	4.1 上記実態把握調査結果に基づくアクションプラン案の策定 4.2 アクションプラン案に基づき公開ワークショップが開催される 4.3 アクションプランの確定	4.1 アクションプラン案 4.2 公開ワークショップの開催記録 4.3 アクションプラン・レポート	
5. アクションプランが実行され改善が具体化する。	5.1 収集率の向上、不法投棄の減少 5.2 最終処分場改善 5.3 改善実施総括レポート(実践を踏まえたパレスチナ自治政府への提言を含む)	5.1 収集率の実測 5.2 埋立地改善による汚染の減少を実測モニタリング 5.3 改善実施総括レポート	
6. 国内セミナーが開催される。	6.1 パレスチナ各都市廃棄物担当者を対象とした廃棄物管理セミナー(研修・現場視察を含む)の開催	6.1 セミナー開催記録	

プロジェクトの活動	日本側の投入	パレスチナ側の投入	前提条件
<p>活動の実施するにあたり JICA チームとカウンターパートの共同作業 (OJT) を中心に据える。</p> <p>1. プロジェクト運営管理</p> <p>1.1 プロジェクト合同調整委員会 (JCC) 等の設置と定期開催</p> <p>1.2 プロジェクト実施計画の具体化とプロジェクト・モニタリング (報告ペーパーなどを用いる) とフィードバック</p> <p>2. 廃棄物管理組織整備</p> <p>2.1 廃棄物管理組織体制の現状把握</p> <p>2.2 キャパシティ・アセスメントと改善ニーズの把握</p> <p>2.3 廃棄物管理組織の任務分掌の明確化と整備</p> <p>2.4 廃棄物管理会計の確立</p> <p>2.5 市民への広報体制整備 (組織、パンフレットの作成など)</p> <p>2.6 コミュニティ集会の開催</p> <p>2.7 郊外集落との協議会開催</p> <p>3. 実態把握調査の実施</p> <p>3.1 既存資料の検討と現状把握調査方針の策定</p> <p>3.2 ゴミ質・ゴミ量調査実施と報告ペーパー作成</p> <p>3.3 収集・運搬実態調査 (不法投棄実態調査含む) の実施と報告ペーパー作成</p> <p>3.4 最終処分場実態調査 (土壌地下水汚染調査含む) の実施と報告ペーパー作成</p> <p>3.5 医療廃棄物実態調査実施と報告ペーパー作成</p> <p>3.6 実態把握調査総括レポートの作成</p> <p>3.7 ワークショップの開催</p> <p>4. アクションプラン策定</p> <p>4.1 上記実態把握調査結果に基づくアクションプランの策定</p> <p>4.2 アクションプラン案に基づく公開ワークショップ開催</p> <p>4.3 アクションプランの確定とレポートの作成</p> <p>5. アクションプランに基づく改善策の発行</p> <p>5.1 収集運搬能力強化とマニュアル・報告ペーパーの作成</p> <p>5.2 最終処分場改善とマニュアル・報告ペーパーの作成 (汚染モニタリング含む)</p> <p>5.3 改善実施総括レポートの作成 (実践を踏まえたパレスチナ自治政府への提言を含む)</p> <p>6. 国内セミナーの開催</p> <p>6.1 パレスチナ各都市廃棄物担当者を対象とした廃棄物管理セミナー (研修・現場視察を含む) の開催</p> <p>6.2 セミナーテキストの作成</p>	<p>・専門家の派遣 (専門家チームは一括の業務委託契約とする)</p> <p>専門家分野名は以下の通り</p> <p>1) 総括・能力向上評価</p> <p>2) 業務調整</p> <p>3) ゴミ量・ゴミ質分析</p> <p>4) 収集・運搬</p> <p>5) 医療廃棄物</p> <p>6) 最終処分</p> <p>7) 土壌・地下水汚染</p> <p>・現地コンサルタントへの再委託事業 (実態調査、汚染観測ボーリング、委託分析、改善工事、ワークショップ・セミナー開催補助、刊行物作成など) の実施</p> <p>・専門家機材供与 (テキスト、視聴覚教材と必要機器、野外用汚染観測機材、埋立地改善用資材)</p> <p>・個別ワークショップ開催支援</p> <p>・廃棄物管理セミナー開催支援</p> <p>・マニュアル、ペーパー、刊行物の発行支援</p> <p>・国内個別研修の受け入れ</p> <p>日本連携スキームからの投入</p> <p>・国内集団研修 (JICA 東京)</p> <p>・第三国研修 (ヨルダン事務所等)</p> <p>・JICA-Net 研修 (パレスチナ事務所・Birzeit 大学の協力)</p> <p>・無償資金協力事業 (収集運搬機材及び埋立重機等の供与)</p> <p>その他の投入</p> <p>・パレスチナとヨルダンの帰国研修員 (廃棄物) ネットワークによるリソースの有効活用 (例えば研修講師委託など)</p>	<p>・カウンターパートの配置</p> <p>・プロジェクト事務局・専門家執務室の提供</p> <p>・既存資料 (調査資料、報告書、法令規則集、予算決算書、廃棄物事業会計情報、地図、土地利用図、事業者リスト等) の提供</p> <p>・埋立地のための土地の提供</p> <p>・地下水汚染観測ボーリング用地の提供</p> <p>・病院の立ち入り調査に関する許可の取得</p> <p>・埋立地改善に関して EIA の実施並びに中央省庁の許認可の取得</p> <p>・機材のオペレーションとメンテナンスの実施</p> <p>他ドナーから期待される投入</p> <p>・環境教育プロジェクトによる住民意識の啓発事業 (NGO)</p> <p>・ガザ及びラマラにおける先行廃棄物プロジェクトの教訓・情報の提供 (GTZ)</p> <p><留意点></p> <p>上記2点を保障するために、定期的なドナー調整連絡会を設置する必要がある</p>	<p>・ジェリコ市当局が政治的に安定し本プロジェクトのオーナーシップが変化しない。</p> <p>・パレスチナ自治政府が地方自治体を基本とする現行の廃棄物管理制度の骨子を変更しない。</p> <p>・ジェリコ市内 (A zone) の治安が悪化せず、移動の自由等プロジェクト実施の基本条件が損なわれない。</p> <p>・JICA 専門家の入出国が可能である</p> <p>・現地コンサルタントの業務受託が可能である。</p> <p>・必要機材の通関搬入が可能である。</p> <p>・難民キャンプの廃棄物一括収集 (現行) 体制が維持される。</p>

プロジェクト実施計画(暫定) Tentative Project Operation Plan

プロジェクト名: パレスチナ西岸ジェリコ市廃棄物管理能力向上支援プロジェクト(技術協力プロジェクト)

実施機関: ジェリコ市役所 プロジェクト実施期間: 2005年から2008年まで(3年間)

TPO作成: 吉田充夫 (PDM version2.0J対応)

作成期日: 2005年5月2日 バージョン: TPO Ver. 2.0J

青色着色 部分がoperation期間。投入はJICA ExpertとLocal Consultantの組み合わせであり、全期間張り付きを意味しない。

プロジェクトの活動細目	プロジェクト第一年度			第二年度			第三年度			JICA					
	事前段階	1-1	1-2	1-3	1-4	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	3-3	3-4	Expert	Local
1. プロジェクトの活動細目															
1. プロジェクト運営管理															
1.1 プロジェクト合同調整委員会(JCC)等の設置と定期開催		**				**				**				**	0.3
1.2 プロジェクト実施計画の具体化とモニタリング・フィードバック															0.3
2. 廃棄物管理組織整備															
2.1 廃棄物管理組織体制の現状把握															0.5
2.2 キャパシティ・アセスメントと改善ニーズの把握															0.5
2.3 廃棄物管理組織の任務分掌の明確化と整備															0.5
2.4 廃棄物管理会計の精査と確立															1
2.5 市民への広報体制整備(組織・パンフレット)															0.5
2.6 コミュニティ集会の開催			*												0.5
2.7 郊外集落との協議会開催			**												0.5
3. 実態把握調査の実施															
3.1 既存資料の検討と現状把握調査方針の策定															1
3.2 コミ質・ゴミ量調査実施と報告ペーパー作成			*												1
3.3 収集・運搬実態(不法投棄)調査実施と報告ペーパー作成			*												1
3.4 最終処分場実態調査(汚染調査)実施と報告ペーパー作成			*												1
3.5 医療廃棄物実態調査実施と報告ペーパー作成			*												1
3.6 実態把握調査総括レポートの作成						*			1						3
3.7 ワークショップの開催						**									0.5
4. アクションプラン策定															
4.1 上記実態把握調査結果に基づくアクションプランの策定						*									1
4.2 アクションプラン案に基づく公開ワークショップ開催						**									0.5
4.3 アクションプランの確定とアクションプランレポートの作成							*								1
5. アクションプランに基づく改善策の実行															
5.1 収集運搬能力強化とマニュアル・報告ペーパーの作成										*		1			3
5.2 最終処分場改善とオパマニュアル・報告ペーパーの作成											*		*		2
5.3 改善実施総括レポートの作成(提言を含む)															1
6. 国内セミナーの開催															
6.1 パレスチナ各都市廃棄物担当者対象廃棄物管理セミナー															**
6.2 セミナーテキストの作成															*
その他: プロジェクト業務調整															12
他のスキームによる投入															31.1
(合計人員投入量(M/M))															
国内集団研修(JICA東京) > プロジェクト開始前にC/P全員?															
第三国研修(ホルダン事務所等)															
JICA-Net研修(パレスチナ事務所・Birzeit大学の協力)															
無償資金協力事業(収集運搬機材及び埋立重機等の供与)															
帰国研修員(廃棄物) ネットワークによるリソースの有効活用															
他のプロジェクトとの調整・連携															
ジェリコ地域開発プロジェクト(調査団との定期協議ほか)						**	**	**	**	**	**	**	**	**	**
環境教育プロジェクトによる住民意識の啓発事業(NGO)						**	**	**	**	**	**	**	**	**	**
先行廃棄物プロジェクトの教訓・情報の提供(GTZと定期協議)						**	**	**	**	**	**	**	**	**	**

(註) 各技術協力活動成果の主たる指標となる成果品または業績 * : 報告ペーパー、レポート、テキスト、マニュアルなどのドキュメント ** : ワークショップ、セミナー、会合などの開催

研修全体フロー図（案）

パレスチナ国別廃棄物管理研修コース

廃棄物管理行政に関する制度・体制・組織・計画・技術を中心に研修を実施し、習得事項を適用・応用してパレスチナの廃棄物管理行政と関連分野の人材養成・事業改善に資する。

研修内容

1. オリエンテーション

コース開始時、進行課程において、常に本コースの目的と目標を見失わないために、研修内容と研修構成に関してオリエンテーションを行う。

2. ジョブレポート発表会

各研修員の報告により、研修員及び研修関係者が、国家レベルの廃棄物管理政策と現況、所属機関の業務内容と問題点・課題を理解し、研修を円滑に進める準備を行う。

3. 廃棄物管理の制度的・機構的枠組

日本や他国の事例紹介を通じ、政府・地方自治体における環境・廃棄物管理行政を推進する上で必要な法体系、政策、計画、組織の役割、社会、市民参加などを理解する。

4. 廃棄物管理の技術的枠組

廃棄物管理に必要な技術的コンポーネントを概観し、廃棄物管理システムの構築方法、それぞれのコンポーネントの働きや技術的課題、留意点について、日本や各国の事例紹介を通じ理解する。技術コンポーネントの理解を具体的に図るために、研修員のニーズに合致した事例を選択し、視察・研修旅行を行う。

5-1. 廃棄物管理行政とキャパシティ・ディベロップメント

実際に廃棄物管理行政を推進するにあたり必要とされる多くの事例紹介を通じ、各施策・事例のポイントを理解し、自国への応用可能事例を見いだしていく。特に、廃棄物管理のためのキャパシティ・ディベロップメントの課題について、理解を深め、帰国後の自立的で持続的な事業改善に資するようにする。

5-2. 視察及び研修旅行

日本の自治体及び民間企業等の様々な廃棄物管理事業を実際に見聞し、理解を深めながら視野を広げ、今後の自国での廃棄物管理の具体的参考例となるようにする。

5-3. ジェリコ・プロジェクトの紹介

ジェリコ市で実施計画中のプロジェクトを紹介し今後の技術協力の方向性を理解する。

6. アクションプラン発表会

本研修の習得事項を最大限に活かしながら、研修員が現状をどう分析し、帰国後どのように問題解決に取り組んでいくかをまとめた報告書を作成し、発表を行う。発表会では日本側講師や研修員相互の議論を通して内容を高める。

研修方法

<講義>
現状と問題点を確認すると同時に、基礎知識を学習する。
<見学>
現場見学を通じ、日本の廃棄物管理の現状を確認する中で具体的に事例・技術を発見する。
<討論・発表>
研修をふまえ、パレスチナにおける廃棄物分野の各々の取り組みについて講師を含めた発表会形式により検討する。

研修成果

1. 廃棄物管理行政の社会的制度的組織的枠組みの把握
2. 廃棄物管理システムの概要と技術コンポーネントの基礎的な理解
3. 廃棄物管理行政の事例理解と適用・応用事例の発見
4. 社会配慮や住民との合意形成、環境教育の重要性の理解
5. 今後の課題の整理
6. ジェリコ・プロジェクトの理解と帰国後の積極的参加もしくは連携

研修到達目標

廃棄物管理事業とはなにか、を日本や他国の事例を通して学ぶとともに、それを参考にして、自国都市の廃棄物管理を改善する基礎知識が習得され、各研修員の業務に適用される。また、ジェリコ・プロジェクトのC/Pにとっては現地での技術指導の前提となる知識を獲得。